

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 当該年度の事業の概要

#### ○法人の管理運営

1. 私立学校法等改正に対応した学園の運営体制の点検及び充実を図る。
2. 第2次「経営改善計画」の着実な実施による財政基盤の安定を図る。
3. 「学園創立100周年記念事業」を推進し、「睦学園グランドデザイン2030」計画における目指す姿に向けてのアクションプランを着実に実行する。

#### ○兵庫大学・兵庫大学短期大学部

### 1. 事業方針

- 2030年に目指す姿・・・地域になくてはならない大学  
目標（評価指標）・・・学生満足度80%以上  
入学定員充足率1.1倍以上

### 2. 事業計画

#### (1) 人間教育

- ① 3つのポリシーの再点検・見直し

#### (2) 教育研究

- ① 教育の質向上に向けた教育プログラムの検討
- ② 学生満足度の向上に向けたIR機能の活用
- ③ 学生の希望に沿った質の高い出口保証
- ④ 中途退学率、原級留置生の減少
- ⑤ 現代ビジネス研究科の教育研究の充実
- ⑥ 看護学研究科 博士前期・後期課程の教育研究改革
- ⑦ 中期計画に基づく学部学科改組計画の策定
- ⑧ 新設置基準に対応した教員幅制等のあり方検討
- ⑨ 課外活動の活性化
- ⑩ 学生の多様性に配慮した支援の強化
- ⑪ BYOD環境の整備(ソフト面・ハード面)教育・支援体制及び基盤環境の整備
- ⑫ 共同研究(国際共同研究を含む)の推進
- ⑬ 受託研究の拡充や寄附、助成等による独自研究在源の確保
- ⑭ 研究成果の可視化

### (3) 国際化推進

- ① 国際交流方針等の策定
- ② キャンパスグローバル化に関する制度設計等
- ③ 留学生拡充戦略の策定
- ④ 留学生のニーズを踏まえた科目や学科のコースなどの教育機会の拡充
- ⑤ 留学生受け入れ環境の整備
- ⑥ 留学生卒後進路の開拓

### (4) 社会連携

- ① 卒業生とのネットワークの構築及び同窓会との連携強化
- ② 地域人材育成プラットフォームの形成と事業創出
- ③ 生涯学習の社会人受講者を述べ 5,000 人以上
- ④ 新たな連携協定先の検討

### (5) 経営基盤

- ① 安定した収入確保と支出削減 教研・管理経費比率 40%
- ② 組織体制の見直し検討
- ③ 学園 IR システム構築のための他部門との連携
- ④ 訴求力を高める広報活動の展開
- ⑤ 人材育成の観点からの FD・SD の再構築、評価制度の検討
- ⑥ 「キャンパス魅力的計画」の策定

## ○兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

### 1. 事業方針

2030 年に目指す姿・・・「個」にあわせたキャリアデザインを高大連携により実現させてくれる高校

目標（評価指標）・・・大-短への進学率 65%(兵大進学 90 名超)受講者数 700 名

### 2. 事業計画

#### (1) 人間教育

- ① 生徒・保護者・学校関係者の評価がそれぞれ B 評価（概ね達成している）
- ② 現強化クラブ（ソフト・バレー・新体）以外の強化クラブ（2 クラブ）内

## 1 クラブ決定

### (2) 教育研究

- ① 大・短への進学率（専門学校含む進学率）の向上  
進学率 65%（80%）、兵大進学者 90 人超、5 コース超
- ② 兵庫大学との高大連携による探究学習  
学校設定科目として探求学習 4 コース 1 単位増検討
- ③ IR 等導入による個に寄り添う教育の展開(キャリアデザイン)
  - ・本校の生徒指導に適した開発
  - ・キャリアデザインシート等、単位制課程の検討によりミスマッチを防ぐ
  - ・退学者数 80 人未満
- ④ 未来デザイン専攻のプログラム構築  
兵大との共同開発によるプログラム構築、兵大現ビズへの進学 12 人
- ⑤ 英語教育を中心とした教育現場による難関大学の進学率向上  
難関大志望者対応の英検対策及び受験指導体制の構築

### (3) 国際化推進

- ①ハイブリッドな国際交流宇の展開  
国際交流の復活、長期国際交流策の検討、入学から卒業までの留学生確保の為の体制構築

### (4) 社会連携

- ① 「生活発表とバザー」の卒業生(鷗翠会)との協同による活性化  
卒業生、地域住民の参加者 それぞれ 100 名 計 200 名
- ② 地域社会との連携によるボランティア活動やイベント活動の活性化  
生徒によるボランティア年 2 回、イベント年 1 回参加
- ③ 小・中学校の部活動の地域クラブへの移行に本校の部活動が協力  
地域の小・中学校対象の地域クラブの発足準備(須磨区)

### (5) 経営基盤

- ① 在籍者数 750 人の確保
- ② 受験者数 700 人、入学者 280 人の確保
- ③ 経常収支差額の黒字幅 10%を目指す。

○神戸国際中学校・高等学校

1. 事業方針

2030年に目指す姿・・・「個」を生かす 女子進学校

目標（評価指標）・・・小人数制の利点に更に磨きをかけ、進学実績における巢内目標の達成を目指す。

2. 事業計画

(1) 人間教育

- ① 中学校の道徳教育において学園釧(感謝・寛容・互譲)のこころを育てる。
  - ・感謝・寛容・互譲の心を育む道徳教材の整理を進める。
  - ・年度末の生徒授業アンケート理解度 70%を目指す。
- ② ボランティア活動を推進し、感謝され、感謝する、助け合うこころを育む。
  - ・A・Bブロックや生徒会においてボランティア活動を推進する。
  - ・学校全体で年間ボランティア活動実施回数 5 回を目指す。

(2) 教育研究

- ① 教員の資質能力の向上を図り、授業の工夫・改善・充実による入学後の学力向上を図る。
  - ・中学 3 年次における学力推移調査平均偏差値(英、数、国)各 45 を目指す。
  - ・高校 3 年次における校外模試平均偏差値(英、数、国)各 50 を目指す。
- ② 小人数制に更に磨きをかけ、質問対応や個別指導の徹底による入学後の学力向上を図る。
  - ・入学後に偏差値が 10 以上伸びた生徒を 40%を目指す。
- ③ 学力：語学力：人間力を育み、進路実績の更なる充実を図る。
  - ・国公立大学進学率 15%を目指す。
  - ・難関私立大学合格率 35%を目指す。
  - ・医歯薬系大学合格率 30%を目指す。

(3) 国際化推進

- ① 海外語学研修の推進並びに海外協定校の拡大を図り、グローバル人材を育成する。外留学の推進並びに海外留学生受け入れの拡大を図り、グローバル人材を育成する。
  - ・ニュージーランドにおける語学研修協定校を設ける。
- ② 海外大学との連携協定を推進し、海外大学進学率を上げる。

- ・年間海外留学者数 10 人及び受け入れ人数 5 人を目指す。

#### (4) 社会連携

- ① 協定校(須磨浦小、バイリンガルスクール、高羽六甲小)や協定教育機関(公文、ECC ジュニア)との連携を更に強化し、生徒募集イベントへの参加者数増をはかる。
  - ・協定校や協定教育機関からの本校の広報イベント参加者数 20 人を目指す。
- ② 協定校や協定教育機関との入試連携を更に強化し、本校への推薦者数増を図る。
  - ・協定校や協定教育機関からの推薦者数 10 人を目指す。

#### (5) 経営基盤

- ① 本校の魅力や特色を更に効果的に受験生や保護者に伝え、本校への入学希望者を増やし、進学校として安定した経営基盤を構築する。
  - ・在籍者数 335 人を目指す。
- ② 独立採算できる財政を確立させ、経営判断指標の改善を図る。
  - ・経営改革努力を行い、経営改善を目指す。
  - ・B1(イエローゾーン)

### ○兵庫大学附属須磨幼稚園

#### 1. 事業方針

2030 年に目指す姿・・・信頼される幼稚園

目標 (評価指標)・・・こどもの喜びと保護者の満足度を高める。

#### 2. 事業計画

##### (1) 人間教育

- ① 保育を通じて建学の精神を理解し、日常生活の中で実践する。
  - ・「互譲」を中心とした教育内容の展開
  - ・幼児がわかる SDGs の展開

##### (2) 教育研究

- ① IEP 教育と IR 活用による教育の可視化
  - ・記録の仕方についての検討
  - ・教員研修の充実

② STEAM 教育の展開

- ・エンジョイルームに図鑑、顕微鏡を設置して調べ活動ができるようにする。

(3) 国際化推進

① イマ-ジョン教育の推進、定員の充足

- ・カリキュラムの運用(3歳児)
- ・英検 jr.ブロンズクラスの習熟度 70%到達者 年長全員

② 課外英語教室(学童向け)、アフタースクール(学童)

- ・課外の英語教育からの開始(週1回)
- ・アフタースクールへの検討(外部)

③ 未就園児の英語教室(ひよこ・さくらんぼ)

- ・さくらんぼ組 週1回の「えいごでほいく」導入
- ・ひよこ組 サイバードリームの活用開始
- ・在学児のイマ-ジョンクラスとの交流会

(4) 社会連携

① 地域及び保護者との連携強化

- ・老人ホーム等の交流再開
- ・交流の継続、他事業者との交流方法の模索
- ・子育て相談会(月2回)
- ・親の学び講座の開設(在園児保護者対象)

(5) 経営基盤

① 在園児数 130名、未就園児 30名の確保

② 保護者アンケート実施による満足度指数の向上する。

- ・行事別アンケート年間平均満足度 60%
- ・年度末アンケート平均満足度 60%

③ 経営判断指標の改善 経営判断指標 BO

○兵庫大学附属加古川幼稚園

1. 事業方針

2030年に目指す姿・・・子どもの「好き」を応援し続ける幼稚園  
目標(評価指標)・・・保護者アンケート満足度 95%

## 2. 事業計画

### (1) 人間教育

① 保育を通して学園釧を理解し、日常生活の中で実践する。

- ・異年齢の関わりを深める環境を整え、他者を理解し思いやりの心を育てる
- ・建学の精神の共通認識を深め日々の実践につなげるための研修を実施

### (2) 教育研究

① ドキュメンテーションを介して学びを可視化し園と仮定が共通認識を図る。

- ・子どもの成長過程を保護者と共有するとともに保育計画へと発展させていく
- ・異年齢集団での保育活動に取り組む
- ・個別の教育計画の取り組みの検証、継続
- ・附属園として大学との連携を深める取り組みを推進

② 豊かな環境を活かした健康づくりや感動体験をさせる。

- ・豊かな環境の中で「好き」な遊びや行事を通して健康な心身を育む取り組み
- ・運動あそび等による体力づくりの継続

### (3) 国際化推進

① 保育の中で世界を知る機会の設定をする。

- ・海外からの一時帰国者の受入れ継続
- ・外国の文化や言葉に関する興味や関心を持たせる
- ・園児の発達段階に即して外国語に触れる場面の設定をする

### (4) 社会連携

① 地域及び保護者との連携強化をする。

- ・園児と地域の人との関わりを実施するためのスペース設置
- ・子育て支援教室(園内)の充実と地域施設を利用した親子教室の運営準備
- ・時代に即した保護者会運営方法について検討
- ・地域の保育園との交流 2園

(5) 経営基盤

- ① 在園児数 新入園児数 80 名、新入級児数(2 歳児) 36 名の確保
- ② 経営判断指標の改善
  - ・ 経営判断指標 B0
- ③ 計画的な教職員の年齢構成を構築する。
  - ・ 20 代の教職員の資質向上
- ④ 保護者アンケート実施による満足度指数の向上を図る。
  - ・ 保護者アンケート総合満足度 85%